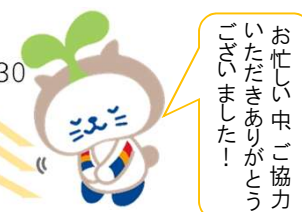


【火曜2限 フィールドワークⅠ グループ6】
 静岡県立大学 国際関係学部
 2313018 勝又海音 2313198 藤巻風香
 2313111 伊藤康平 2313213 持塚咲希
 2313151 酒井陸志

静岡県立大学学生 SDGsインタビュー 2023

【インタビュー実施日】
 令和5年12月22日(金)10:00~12:30
 【実施場所】
 興津貨物自動車運輸株式会社
 【ご担当者】代表取締役 遠藤太朗様



01 興津貨物自動車運輸株式会社 について

昭和16年創業創立80周年

・運送事業・倉庫業・プリント事業
 →3つの事業展開

それぞれの事業に異なるSDGsの取り組みが組み込まれ、持続可能な地域社会の発展に貢献



会社HP

中心には「ひと」がいる

02 調査方法

現場へ伺い、遠藤社長から直接会社概要、SDGs企画、今後の事業展開についてお話をいただいた
 また、実際に使われている倉庫やトラックの概要についても事務所の外まで案内をしていただき、詳細に説明していただいた

04 実際にやっているSDGs活動①

プリント事業

大切なことを伝える

☆トラックのボディープリントをデザイン

- ・きっかけはメーカーの方が営業に来たこと
- ・輸送会社のイメージとは違う新しいことにチャレンジしてみようという思いから、事業展開を決断
- ・オートボディープリンターを使用して、トラックや車に直接画像をプリント
- ・今までにSDGsや清水エスパルスのロゴなどのプリントを行っている

静岡市のSDGs担当の部署から取材が来たことも！
 →看板を背負っているんだ！人に見られているんだ！という意識にも繋がりがドライバーの運転もやさしくなる！

狙わずとも「良い連鎖」が生まれる



インタビュー先企業様

興津貨物自動車運輸株式会社



03 事業展開

運送事業

大切なものを届ける

- ・大型トラックで静岡県内を中心に「安全運転」で輸送を行っている
- ・会社の事業のうちの8.5割と多くの割合を占めている
- ・10t車 20台、4t車、3t車 5台 計25台を所有
- ・会社の大型運転免許を取得できる制度で運転手は仕事に取り組み、ドライバー同士で助け合っている
- ・100社以上の協力会社により全国への輸送も可能
- ・急なオーダーにも対応できることを強みとしている

倉庫業

大切なものを守る

フローリングや木材といった建材を中心にコーンスターチなど飲料、食料などの顧客の荷物を補完
 フォークリフトでの作業や荷物の梱包なども行っている
 預かった荷物を大切に扱い、トラックの積み下ろし作業がスムーズに行えるように心がけている



現場力

05 実際にやっているSDGs活動②

エコドライブ

2014年から事故防止ミーティングによるエコドライブを行っている。

- ・合言葉は「ゆっくり発進、ゆっくり停車」
- ・事故件数が3分の1に減少
- ・低燃費-10年で37%削減、コストの削減
- ・事故防止ミーティング-社長は参加せずに意見を言いやすい環境づくりで従業員の自主性を大切にしている

=人を中心とした考えのもと、長年積み重ねてきたことがエコドライブで低燃費と事故防止を達することに繋がった



06 実際にやっているSDGs活動③

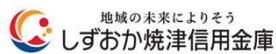
女性雇用推進 女性ドライバーの割合は3~4%

運送業の女性社員の割合は少ない...
 自然と女性の方が増えるようにしたい
 →女性社員の方が活躍している事例があれば入りやすくなる？
 ホームページに社員の声としてインタビュー形式の記事を掲載
 女性だからという特別扱いはしない
 人の中身を見る！
印象を残すことが大事！「ヒト」にフォーカス！



07 感想

今回のインタビューをさせていただく中で、遠藤社長の会社に対する熱い思いや運送業界を魅力あるものにしたいという思いを強く感じました。SDGs活動を意識して行うのではなく、今まで行ってきたことがSDGs活動に繋がっていたとおっしゃっていたことが非常に印象的であり、長年積み重ねることの重要性を実感する機会となりました。また、会社のキャッチフレーズにもある「中心に人がいる」という言葉には非常に共感できる部分があり、人との繋がりの大切さ、ありがたさを改めて学ぶことができました。
 お忙しい中、大変有意義なインタビューをさせていただき、本当にありがとうございました！



しずおか焼津信用金庫は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援します